



鹿児島トヨタ自動車

トヨタカローラ鹿児島

おおすみ MMO*と鹿児島トヨタ自動車株式会社、 トヨタカローラ鹿児島株式会社との包括連携 に関する協定について

1. 目的（第1条関係）

おおすみ MMO と鹿児島トヨタ自動車株式会社、トヨタカローラ鹿児島株式会社は、包括的な連携のもと、広域により交通資源の再編、利便性の向上、担い手の負担軽減等において相互に協力し、「SDG s」の実現に向けて地域課題の解決と地域社会の持続性向上に寄与することを目的とする。

2. 連携・協力事項（第2条関係）

おおすみ MMOと鹿児島トヨタ自動車株式会社、トヨタカローラ鹿児島株式会社は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項について連携し、協力する。

- （1）地域交通に関すること
- （2）持続可能な地域社会の構築に関すること
- （3）地域コミュニティに関すること
- （4）まちなか（商店街等）再生に関すること
- （5）地域や暮らしの安心・安全に関すること
- （6）その他地域の課題解決に関すること

※以上、協定書より抜粋

*おおすみ MMO

おおすみ Mobility Management Organization（モビリティ・マネジメント・オーガニゼーション）

- ◇鹿児島県肝属郡3町（肝付町、錦江町、南大隅町）及び地元事業者等による産官連携組織。
- ◇2019年9月に「肝属郡広域 MaaS 協議会」として発足。2020年7月、「おおすみ MMO」に名称変更。
- ◇3町では「SDGs」を見据え、広域連携による地域課題の解決（持続可能な生活圏の構築）を協議しており、当初取組む共通課題として「公共交通」が挙げられたことから、本協議会を組織するとともに、公共交通を軸に大隅半島全体の広域連携による施策の展開を図る。
- ◇2020年度、おおすみ MMO と鹿児島トヨタ自動車・トヨタカローラ鹿児島は、トヨタ・モビリティ基金の助成事業として採択された「自治体圏域を越えた広域連携体制による移動課題解決への新たなアプローチ」を目指す連携プロジェクト＜別紙参照＞を始動している。

おおすみ MMO×鹿児島トヨタ自動車・トヨタカローラ鹿児島 トヨタ・モビリティ基金助成事業「自動車販売店各社による地域支援活動」 【自治体圏域を越えた広域連携体制による移動課題解決への新たなアプローチ】 活動概要

1. 活動の目的

- ・広域での取組みによる交通資源(手段、担い手)の再編。再編による広域移動利便性の向上。
- ・利便性向上による公共交通の利用増加。持続性向上による交通弱者の移動手段確保。
- ・担い手(送迎する親族など)の負担軽減。生活支援やフレイル予防による QOL 向上。

2. 地域の課題解決に向けた具体的な活動内容

- ① 3 町広域路線「肝属温泉タクシー」の運行
- ② 肝付町「AI タクシー」の運行
- ③ 錦江町「宿利原地区」における住民ボランティアによる自家用無償運行
- ④ 南大隅町「辺塚地区」に向けた貨客混載運行（買い物支援）

